

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第34週（8月19日～8月25日）

今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎 報告数多い状態が続く」

第34週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,625例であり、お盆期間の前週に比し、63.8%増であった。定点あたり報告数の第1位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.67、2.59、1.38、0.50、0.42である。

手足口病の報告数は前週比50%増の526例で、北河内5.48、中河内3.63、大阪市北部2.79、南河内2.63、三島2.41であった。

感染性胃腸炎は111%増の511例で、南河内4.06、北河内3.84、中河内3.32である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は70%増の272例で、大阪市南部2.61、堺市2.58、大阪市東部1.87であった。

RSウイルス感染症は20%増の98例で、北河内0.76、南河内0.75、大阪市北部0.71である。

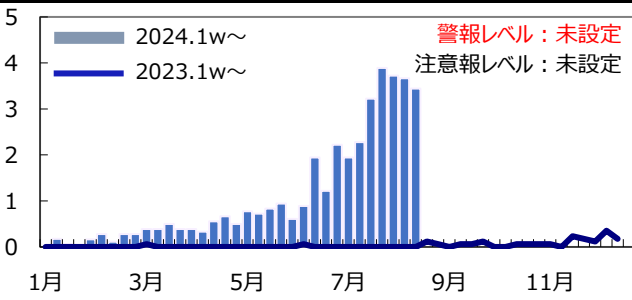
ヘルパンギーナは11%増の83例で、中河内0.84、南河内0.56、堺市0.53であった。

インフルエンザは137%増の83例で、定点あたり報告数は0.27である。大阪市南部0.48、南河内0.42、大阪市北部0.40、堺市0.31、北河内0.27であった。

新型コロナウイルス感染症は15%増の1,620例で、定点あたり報告数は5.29である。堺市6.86、北河内6.63、大阪市北部6.50、南河内5.88、豊能5.32であった。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は、62例の報告がある。前週より4例減となったが、過去10年と比べて引き続き多い報告数となっている。

マイコプラズマ肺炎



新型コロナウイルス感染症

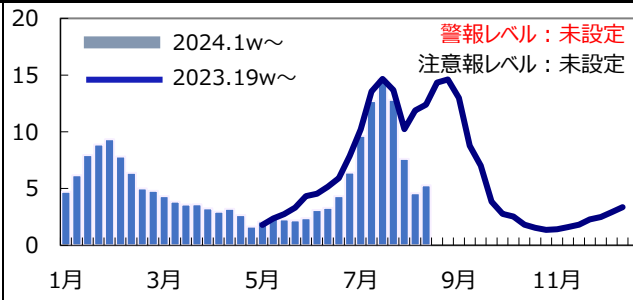


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第34週8月19日～8月25日）

第34週の順位	第33週の順位	感染症	2024年 第34週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2023年 第34週の 定点あたり 報告数	2024年第34週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	手足口病	2.67	50%増	0.27	1歳_22%
2	2	感染性胃腸炎	2.59	111%増	2.69	1歳_14%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	70%増	1.66	10-14歳_14%
4	4	RSウイルス感染症	0.50	20%増	0.46	1歳_40%
5	5	ヘルパンギーナ	0.42	11%増	0.64	1歳_18%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	5.29	15%増	12.40	70-79歳_13%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

[詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について\(大阪府\)』の情報をご覧ください。](#)

[詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症\(大阪府感染症情報センター\)』の情報をご覧ください。](#)

第34週のコメント

～百日咳～ 生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

[百日咳（大阪府感染症情報センター）](#)
[百日咳とは（国立感染症研究所）](#)

年別累積報告数（大阪府）

表2. 大阪府全数報告数（2024年 第34週8月19日～8月25日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7	1				2		2	2	124
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2								2	76
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	1							1	112
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	77
	後天性免疫不全症候群	2			1				1		64
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1							1	173
	水痘（入院例）	2			1					1	19
	梅毒	16	1	1	1		1			12	1,225
	百日咳	4	1		1					2	57
結核 (2024年6月分)	結核 新登録患者数：75名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 25名) (府内累積報告数 490名、内 肺・喀痰塗抹陽性 186名)										

(2024年8月27日 集計分)